



Quick Guide

Foxit® J-Reader

For Windows

Microsoft Partner
Gold Independent Software Vendor (ISV)

目次

目次.....	2
Foxit J-Reader を使用する	3
インストールとアンインストール	3
ファイルを開く、作成する、閉じる、保存する	3
インターフェーススタイルとスキンの設定.....	6
リボンのカスタマイズ.....	8
他のツールの使用.....	1 1
文書の閲覧.....	1 2
指定ページへの移動	1 2
文書の表示.....	1 4
文書表示の調整	1 5
閲覧支援	1 5
PDF ファイルの操作.....	1 6
テキスト、画像、ページなどのコピー	1 6
定規、ガイド、線の太さ、計測	1 6
元に戻す、やり直し	1 8
Evernote に送信.....	1 8
PDF サイン.....	1 9
注釈.....	2 0
注釈ツール.....	2 0
スタンプツール	2 3
PDF のレビュー.....	2 4
フォーム	2 6
PDF フォームへの入力.....	2 6
フォームに注釈を追加する	2 7
フォームデータの読み込みと書き出し.....	2 7
2D バーコードの生成	3 0
XFA フォームの署名の検証.....	3 1
その他の編集機能	3 2
しおり	3 2
印刷.....	3 3
PDF 文書の印刷方法	3 3
ページの一部を印刷する	3 4
印刷オプション	3 4
印刷ダイアログ	3 5
お問い合わせ	3 6

Foxit J-Reader を使用する

インストールとアンインストール

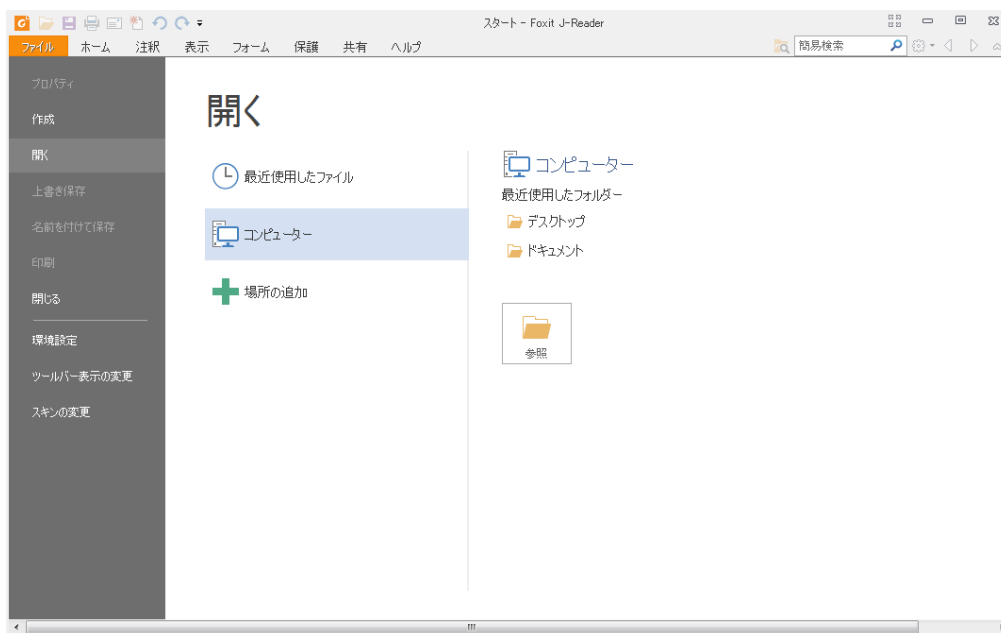
Foxit J-Reader は簡単にインストールできます。セットアップファイルをダウンロードしてダブルクリックし、表示される案内に従って手順を実行してインストールしてください。

Foxit J-Reader をアンインストールするには、下記のいずれかを実行してください:

- スタートメニュー > すべてのプログラム > Foxit J-Reader > アンインストールをクリックする。
- スタートメニュー > コントロールパネル > プログラムのアンインストール > Foxit J-Reader を選択してアンインストールを選択する。
- Foxit J-Reader のインストールフォルダーにある uninstall.exe をダブルクリックする。
デフォルトのインストールフォルダー: %\...\Foxit Software\Foxit Reader\

ファイルを開く、作成する、閉じる、保存する

Foxit J-Reader アプリケーションを起動して、**ファイル** タブの対応するオプションを選択して PDF ファイルを開く、作成する、閉じる、そして保存することができます。



PDFの作成

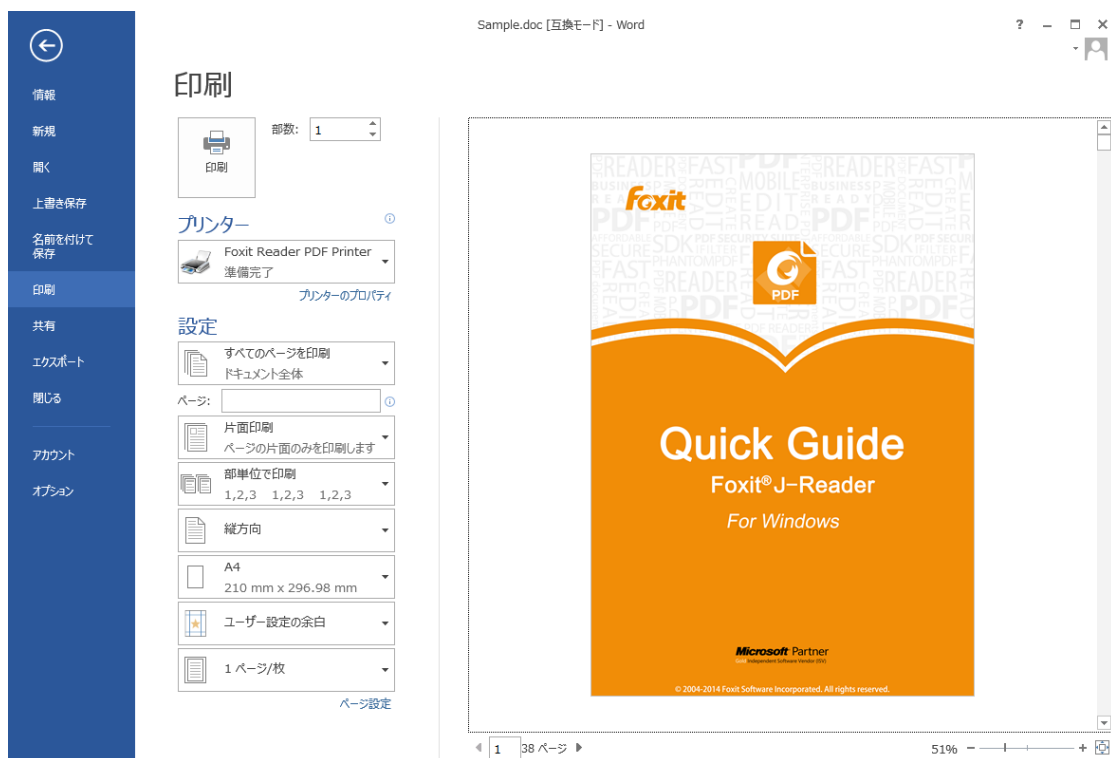
Foxit J-Readerを使用して、無償で他のファイル形式からPDFファイルを容易に作成することができます。複数の方法で作成可能です:

1. ドラッグアンドドロップで作成:

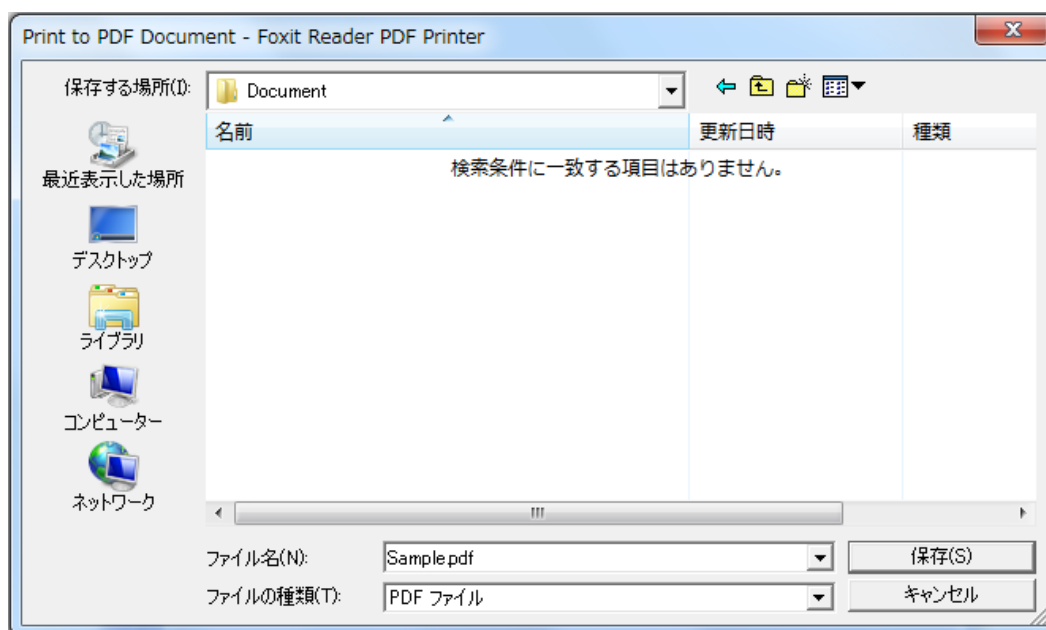
- Foxit J-Reader を起動します。
- Foxit J-Reader のワークスペースに作成元ファイルをドラッグ&ドロップするとPDFが作成できます。

2. 仮想プリンターを使用:

- PDFを作成するファイルを、そのファイル形式の所定のアプリケーションで開き、印刷操作を選択してください。例えば「.doc」形式であればMS Wordで開きます。
- ファイルメニューより印刷を選択し、「Foxit Reader PDF Printer」を選択して印刷を実行します。(下図はWord 2013での印刷):

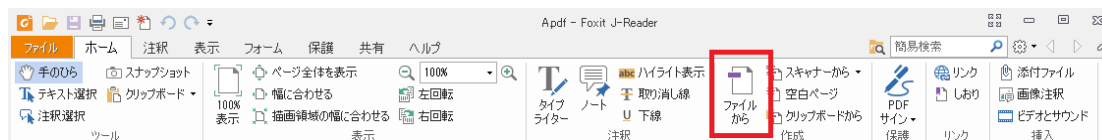


- ファイルはPDF形式に変換され、任意の場所を指定して保存することができます:



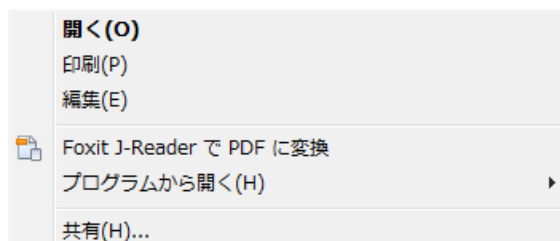
3. リボンでの操作:

- ホームメニュー > 作成グループより「ファイルから」を選択して任意のファイルを変換できます。下図を参照してください:



4. ファイルを右クリックしてポップアップメニューから:

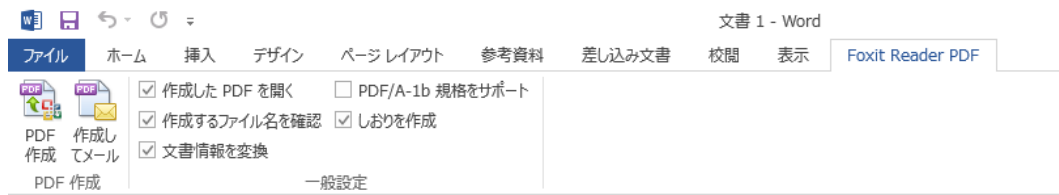
- PDFに変換するファイルを右クリックします。
- 「Foxit J-ReaderでPDFに変換」を選択して実行します:



5. OfficeアドオンによるPDF変換:

- アドオンをインストールすると、Officeファイルを開いたときツールバーに「Foxit Reader PDF」アドオンが表示されます。
- メニューより「Foxit Reader PDF」を選択して「PDF作成」を選択することでOffice

形式のファイルをPDFに変換できます。



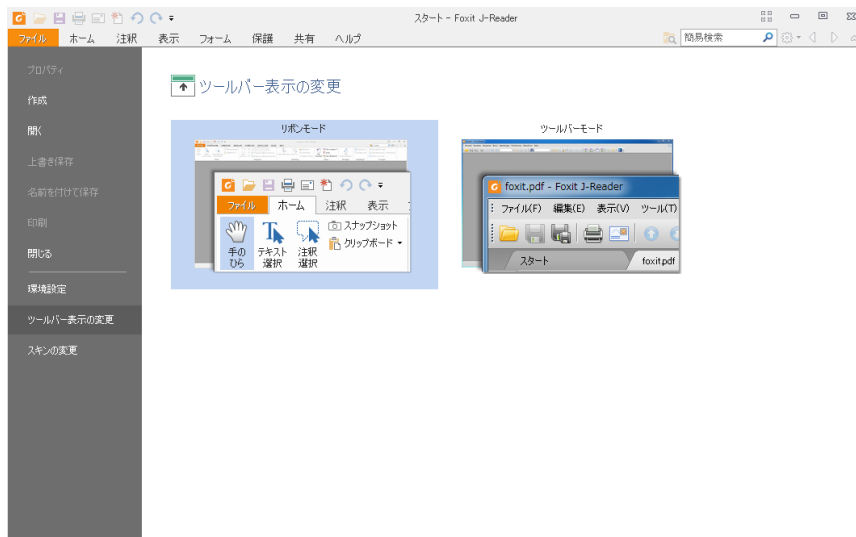
インターフェーススタイルとスキンの設定

ユーザーインターフェースのスタイルは、**ツールバーモード** と **リボンモード** の 2 種類があり、お好みに応じて変更することができます。また **Classic**、**Black**、**Blue**、**Orange**、**Purple** の 5 種類のスキンがあり、デザインを変更することができます。

ノート: このガイドでは主に、既定の UI であるリボンモードでの操作について説明しています。

インターフェーススタイルの変更は、以下の手順で行います:

- **ファイル > ツールバー表示の変更 > 使用するモード** を選択します。



- (オプション) **ヘルプ > UI オプション > ツールバー表示の変更 > 使用するモード** を選択します。

ノート: ツールバーモードの変更後、効果を反映するには再起動が必要です。

スキンの変更は、以下の手順で行います:

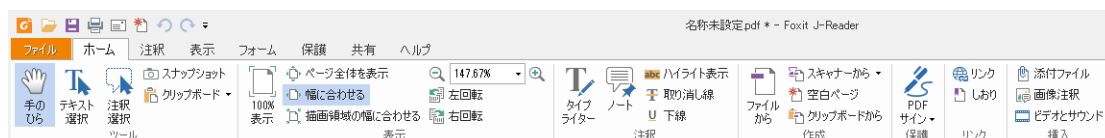
- **ファイル > スキンの変更 > 使用するスキンを選択します。**



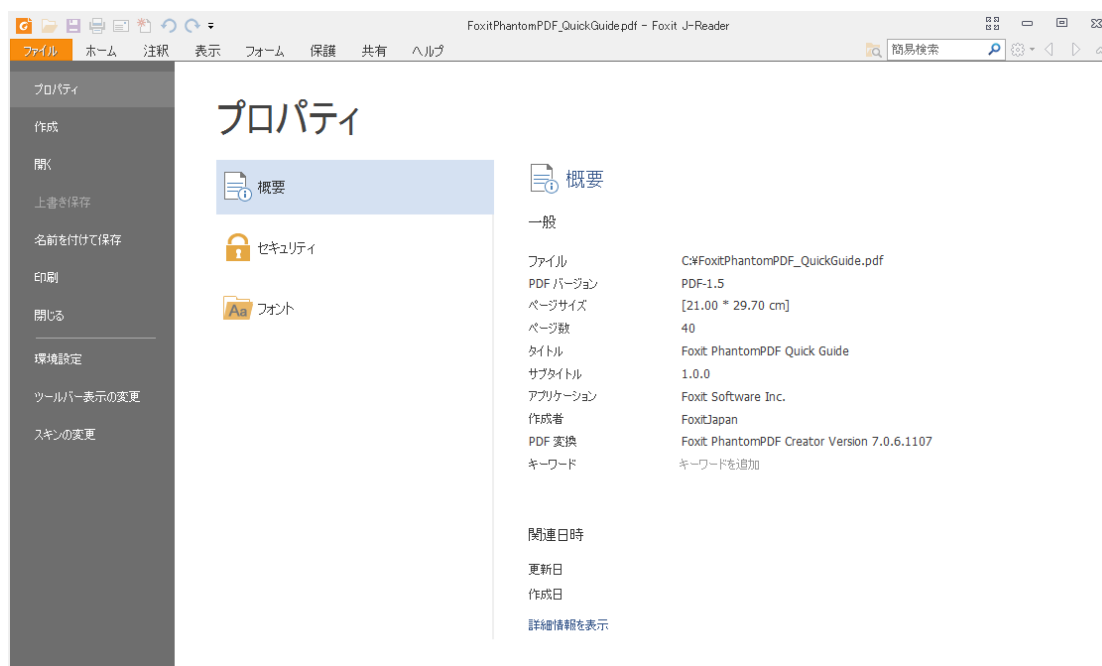
- (オプション) **ヘルプ > UI オプション > スキンの変更 > 使用するスキンを選択します。**

リボンモード

Foxit J-Reader は Office 2013 のようなリボンツールバーをサポートしており、アクセスしやすいようにタスク毎に異なるツールが配置されています。ホーム、注釈、表示、フォームなどのタブを参照して、必要なツールをご確認ください (下図参照)。



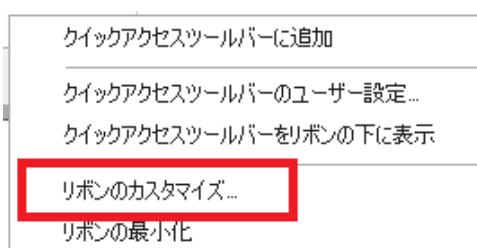
Foxit J-Reader のファイルメニューは Microsoft® Word® 2013 の UI を意識してデザインされており、下図のように関連する内容を同じページに表示することができます。この機能により、より直感的で親しみやすい操作性を提供しています。



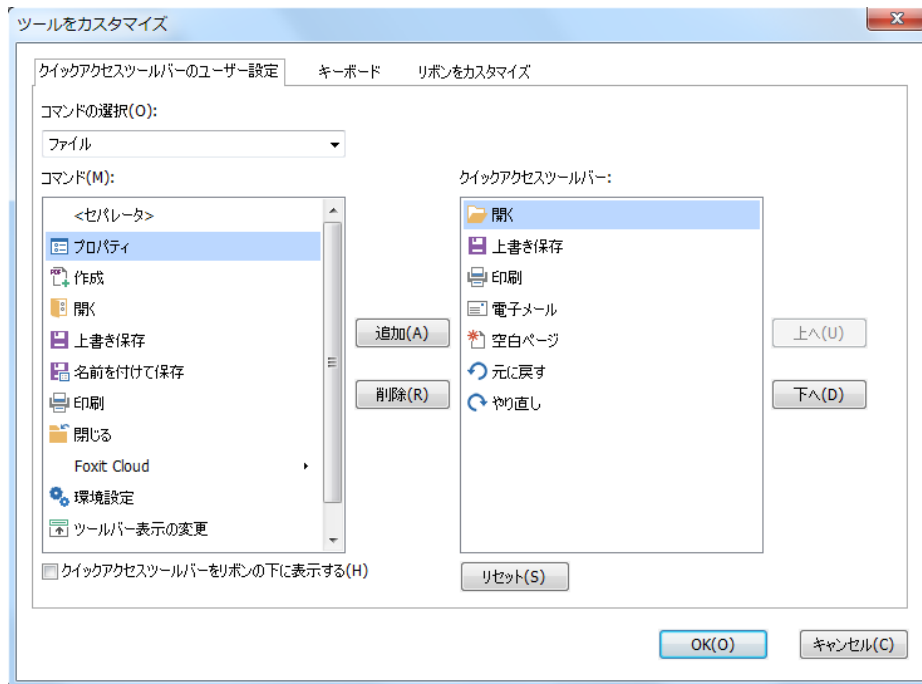
リボンのカスタマイズ

リボンはツールを容易に見つけられるように、そして便利に使用できるようにデザインされています。更にバージョン 7.0 から Foxit J-Reader は、お好みのリボン設定が可能になりました。この機能により、既定リボンをカスタマイズすること、および任意のコマンドでタブやグループを作成することができます。

リボンをカスタマイズするには、まずリボンを右クリックしてメニューより **リボンをカスタマイズ** を選択し、**ツールをカスタマイズ** ダイアログを表示します。そして、以下を実行してください。



右クリックメニュー



「ツールをカスタマイズ」ダイアログボックス

新しいタブを作成

新しいタブを作成するには下記のいずれかを実行します:

- 新しいタブを追加する場所のひとつ前のタブを選択して「**新しいタブ**」をクリックします。
- (別の方法) 新しいタブを追加する場所のひとつ前のタブを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「**新しいタブ**」を選択します。

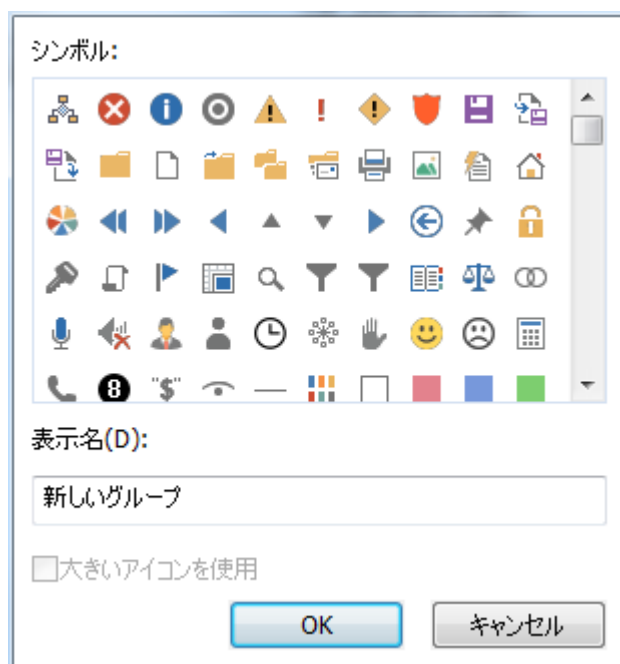
タブに新しいグループを追加

タブに新しいグループを追加するには、以下のいずれかを選択します:

- 新しいグループを追加するタブを選択し、「**新しいグループ**」をクリックします。
- (別の方法) 新しいグループを追加するタブを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「**新しいグループ**」を選択します。

タブ、グループの名称変更

- 名称を変更するタブまたはグループを選択し、「**名前の変更**」をクリックします。
- (別の方法) 名称を変更するタブまたはグループを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「**名前の変更**」を選択します。
- 表示されるダイアログボックスにて新しい表示名を入力し、「**OK**」をクリックしてください。
- カスタムのグループでは名前の変更の際に、表示シンボルを変更することができます。



グループにコマンドを追加

- コマンド (使用する機能) を追加するグループを選択します。
- 「**コマンドの選択**」のリストから追加するコマンドのカテゴリを選択します。
- グループに追加するコマンドを選択して「**追加**」をクリックします。



タブ、グループ、コマンドの削除

タブ、グループまたはコマンドを削除するには、以下のいずれかを実行してください:

- 削除するタブ、グループまたはコマンドを選択して「**削除**」をクリックします。
- (別の方法) 削除するタブ、グループまたはコマンドを選択して右クリックし、ポップアップメニューより「**削除**」を選択します。

タブ、グループの順序変更

タブまたはグループの順序を変更するには、以下のいずれかを実行してください:

- 順序を変更するタブまたはグループを選択して、上  または下  をクリックすることでその方向に移動します。
- (別の方法) 順序を変更するタブまたはグループを選択して右クリックし、「**項目を上へ**」または「**項目を下へ**」を選択すると、その方向に移動します。

リボンのリセット

- ツールをカスタマイズダイアログの「リセット」をクリックすることで、リボンを初期設定にリセットすることができます。

リボンのカスタマイズの読み込み

- 「読み込み」をクリックします。
- 開くダイアログにて、リボンのカスタマイズファイル(.xml 形式) を選択し、「開く」をクリックします。

ノート: リボンのカスタマイズファイルの読み込みを実行すると、それまでの設定がすべて失われます。元の状態に戻す必要がある場合は、カスタマイズの読み込みを行う前に簡単な操作で現在の設定内容を書き出しておくことができます。

リボンのカスタマイズの書き出し

- 「書き出し」をクリックします。
- 「名前を付けて保存」ダイアログにて、ファイル名と保存場所を指定して「保存」をクリックします。

ノート:

1. リボンをカスタマイズダイアログでの設定の後は、「OK」をクリックして設定内容を保存し反映する必要があります。
2. 既定のタブまたはグループと区別できるように、「リボンのカスタマイズ」のリスト上では、カスタムのタブまたはリボンの名称の後に「(カスタム)」と表示されます(例: 新しいタブ (カスタム))。この「(カスタム)」はリボンには表示されません。
3. 既定のグループにあるコマンドはグレー表示されています。これらに対しては、名前の変更、順序の変更、削除を実行することはできません。
4. Foxit J-Reader の既定のタブを削除することはできません。

他のツールの使用



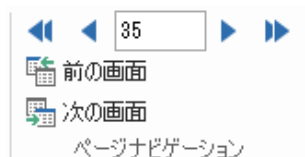
リボンの異なるタブ、異なるグループのツールをクリックすることで、使用するツールを切り替えることができます。また、各ツール上にマウスカーソルを移動すると、そのツールの説明が表示されます。例えば、ホームタブには**ツール**、**表示**、**注釈**、**作成**、**保護**、**リンク**、**挿入**のグループがあります。**手のひら**ツールを使用するとページ内容の表示位置を動かすことができ、**テキスト選択**ツールを使用すると PDF のテキストを選択することができます。**注釈選択**ツールは注釈オブジェクトを選択することができます、**ズーム**ツールはページの拡大縮小が可能です。**作成**グループのツールは PDF を作成することができます、**挿入**グループのツールは PDF に画像やマルチメディアファイル等を挿入することができます。


文書の閲覧

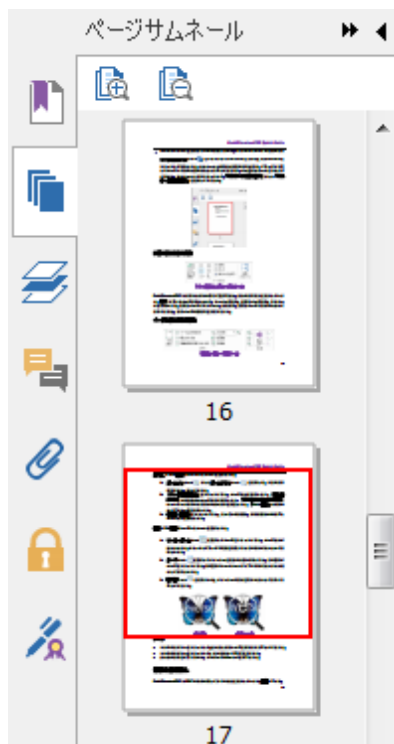
ワークスペースやツールの設定に応じて、お好みの環境で PDF を閲覧することができます。また、簡単に指定のページに移動したり、文書の表示を調整したりすることが可能です。テキストビューワー機能を使用してテキストのみ表示させることや、表示中の文書を音声で読み上げすることなどもできます。Foxit J-Reader は PDF ポートフォリオを閲覧することも可能です。


指定ページへの移動

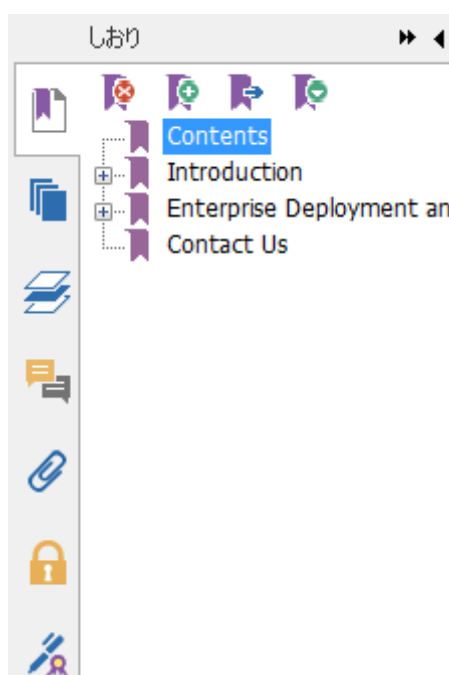
- 表示タブのページナビゲーショングループ、またはステータスバーにある「最初のページ」、「最後のページ」、「前のページ」、「次のページ」をクリックして PDF ページを移動します。また、ページ番号を入力して指定のページに移動することも可能です。「前の画面」をクリックすると前に表示した画面に、「次の画面」をクリックすると次に表示した画面に移動します。



- ページサムネールを使用してページ移動するには、ナビゲーションペイン左側にある**ページサムネールボタン**  をクリックしてサムネールを表示し、対象のページをクリックして移動します。サムネール上の赤枠は現在の表示位置を示し、ドラッグすることでページ上の別の位置に移動させることができます。ページサムネールをリサイズするには、サムネール上で右クリックして、「サムネール画像を拡大」または「サムネール画像を縮小」を選択してください。



- しおりを使用して設定された場所へ移動するには、ナビゲーションペイン左側にあるしおりボタン  をクリックしてしおりを表示します。しおりをクリック、またはしおりを右クリックして「指定の場所へ移動」を選択することで、設定された場所へ移動します。プラス(+)/ マイナス(-) ボタンをクリックすることで、しおりの階層を展開 / たたむことができます。

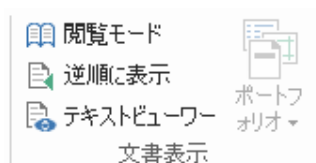


文書の表示

文書の表示にあたり、閲覧モード、フルスクリーンモード、逆順に表示などの表示モードを選択できます。これらの表示モードは、ドキュメントペインを右クリックしポップアップメニューより切り替えが可能です。また Foxit J-Reader は、様々なファイル形式を含む PDF ポートフォリオの閲覧と印刷もサポートしています。

テキストビューワーの使用

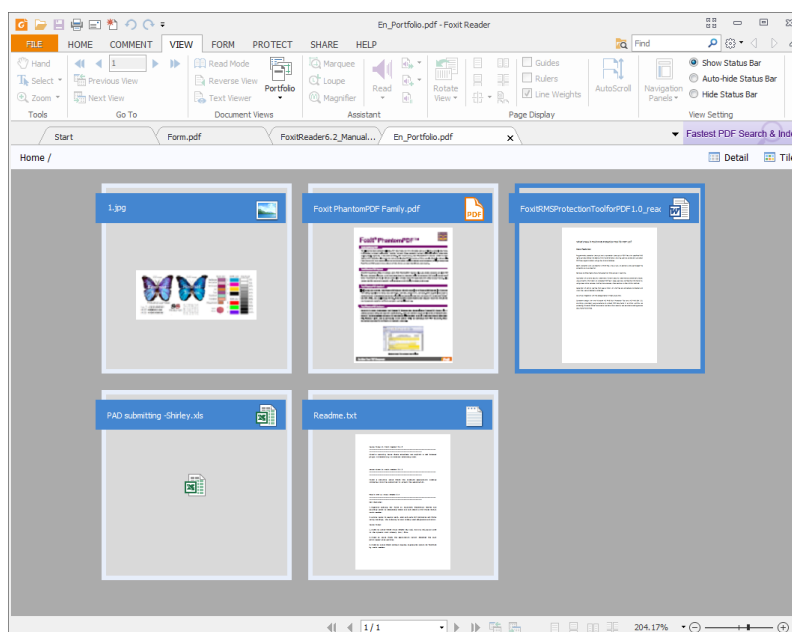
表示タブの文書表示グループにある「テキストビューワー」を使用すると、あらゆる PDF 文書をテキストのみで表示することができます。テキストビューワーで見ることにより、画像や表の間に分散しているテキストが再利用しやすくなります。テキストビューワーの動作はメモ帳に似ていますが、ユーザーのニーズに応じた設定調整も可能です。



表示タブにある文書表示ツール

PDF ポートフォリオの閲覧

PDF ポートフォリオは Word 形式、テキスト形式、Excel 形式などの異なる形式で構成されています。Foxit J-Reader は、PDF ポートフォリオの表示と印刷、および PDF ポートフォリオ内の PDF ファイルの検索機能を提供しています。

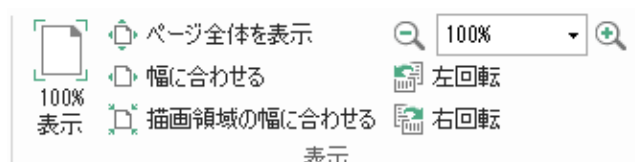


PDF ポートフォリオの表示例

- PDF ポートフォリオファイルを、Foxit J-Reader で開いてください。
- ポートフォリオ内の異なるファイル形式を確認することができます。
- 検索ボックスにキーワードを入力する、またはショートカットキーの CTRL+Shift+F を使用して、ポートフォリオ内を検索することができます。

文書表示の調整

Foxit J-Reader は PDF 文書の表示を調整するためのツールを複数提供しています。ホームタブの表示グループには、ズームイン / ズームアウトのようなシンプルな表示調整のツールが用意されています。表示タブのページ表示グループには、ページレイアウトやページの向きの設定、自動スクロール表示等の、より高度な機能のツールが用意されています。また、コンテンツ上で右クリックし、ポップアップメニューからツールを選択することもできます。




ホームタブの表示ツール



表示タブのページ表示ツール

閲覧支援

支援機能により、ユーザーの PDF 閲覧をより容易に行うことができるよう補助します。表示タブの支援グループには、マーカーツール や ルーペツール のような、PDF をより


明瞭に表示するためのツールが用意されています。また 読み上げ ツール  を使用すると、注釈テキストや画像などの代替テキストを含む PDF コンテンツを音声で読み上げることもできます。



PDF ファイルの操作

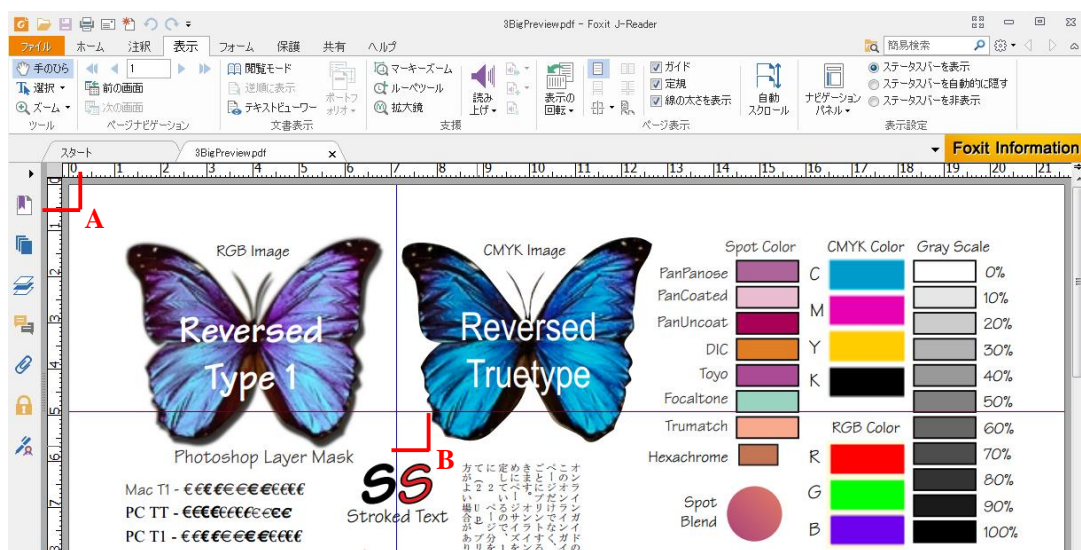
Foxit J-Reader は PDF ファイルを表示するだけでなく、テキストや画像をコピーして他のアプリケーションで利用したり、操作を元に戻す/やり直しを実行したりできます。また、現在開いている PDF を添付ファイルとして Evernote に送信、PDF 文書にサインを挿入することなども可能です。

テキスト、画像、ページなどのコピー

- Foxit J-Reader は、フォントの種類、スタイル、サイズ、色などのフォーマットを維持して、テキストのコピーと貼り付けを行なうことができます。テキスト選択ツールで選択したテキストは、以下のいずれかの方法でコピーすることができます。また、クリップボードに保存された選択テキストは他のアプリケーションに貼り付けることも可能です。
 - ◇ テキストを選択して右クリック > 「コピー」を選択します。
 - ◇ テキストを選択して、ショートカットキー Ctrl + C を押下します。
- スナップショットツール  **スナップショット** を使用して、PDF の画像やページをクリップボードにコピーし、他のアプリケーションで利用することもできます。

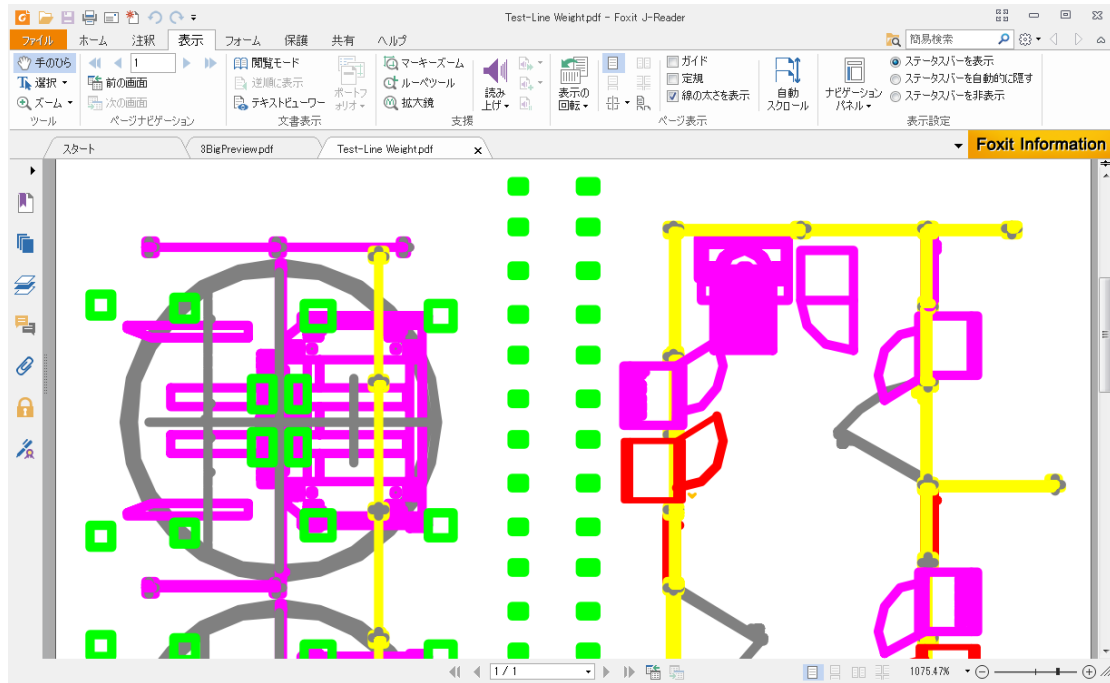
定規、ガイド、線の太さ、計測

- Foxit J-Reader は垂直方向、水平方向の **定規** および **ガイド** 機能を提供しています。**表示** タブの **ページ表示** グループから利用することができ、ページ上のテキストや画像、その他オブジェクトの整列や配置操作を支援します。オブジェクトのサイズや文書の余白のチェックにも役立ちます。

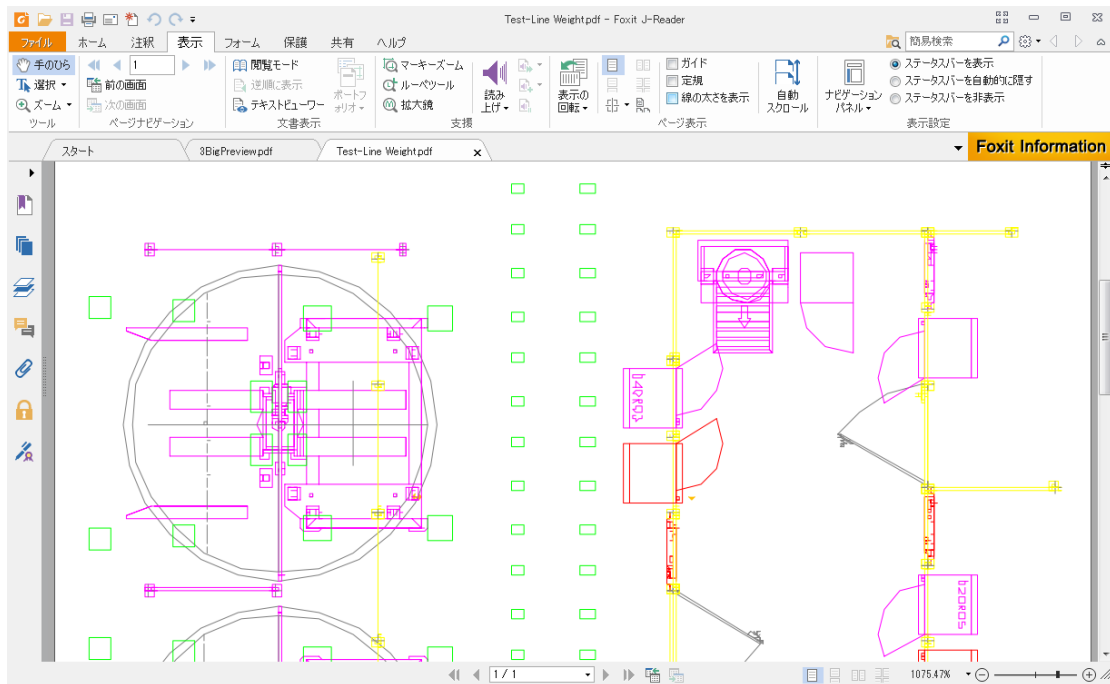


A. 定規 B. ガイド

- Foxit J-Reader は図形の線の太さの設定を無効にして PDF を表示することができます。表示タブにある「線の太さを表示」オプションのチェックを外すことで実行します (表示倍率と無関係に図形の線が 1 pixel で表示)。これにより、ページをより見やすく表示することが可能です。



線の太さの表示を有効にした場合

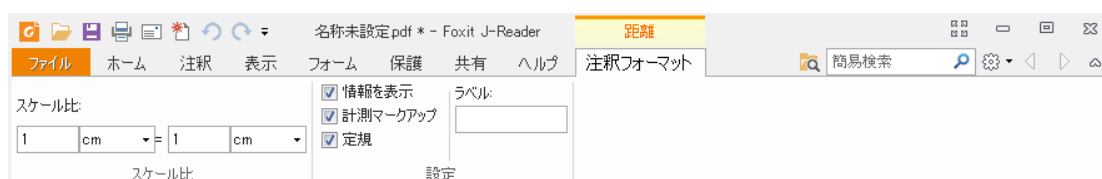


線の太さの表示を無効にした場合



- 注釈タブにある計測ツールを使用して、PDF 文書のオブジェクト間の距離や面積を計測することができます。



- Foxit J-Reader は、計測の実行中に表示される 計測フォーマットタブで、各種オプション設定を行なうことができます。スケール比の設定、定規の表示/ 非表示、計測情報、および計測結果の表示設定が可能です。



元に戻す、やり直し

Foxit J-Reader は、元に戻すボタン  とやり直しボタン  を使用して、直近の動作を取り消したり、繰り返し実行したりできます。

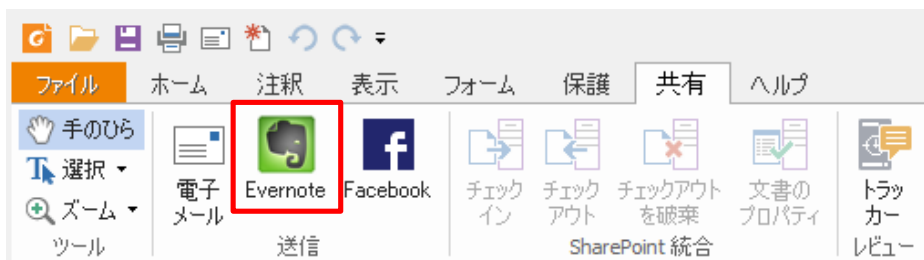
PDF 文書に行なった注釈や編集操作に対して、元に戻したり、やり直したりすることが可能です。

ノート: しおりの編集操作については、元に戻す/ やり直しを行なうことはできません。

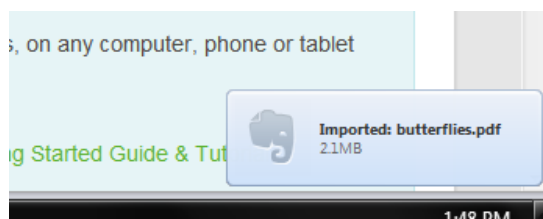
Evernote に送信

現在表示している PDF 文書を直接、添付ファイルとして Evernote に送信することができます。

- 事前に、下記 URL にて Evernote アカウントを用意する必要があります：
<https://www.evernote.com/Registration.action>
また、クライアントソフトのダウンロードとインストールが必要です：
<http://evernote.com/evernote/?file=Win&btn=grey>
- PDF ファイルを開き、必要に応じて編集などを行ないます。
- 共有タブ > 送信グループ > Evernote、を選択します (下図参照)。



- インポートされると右下のバルーンで表示されます。

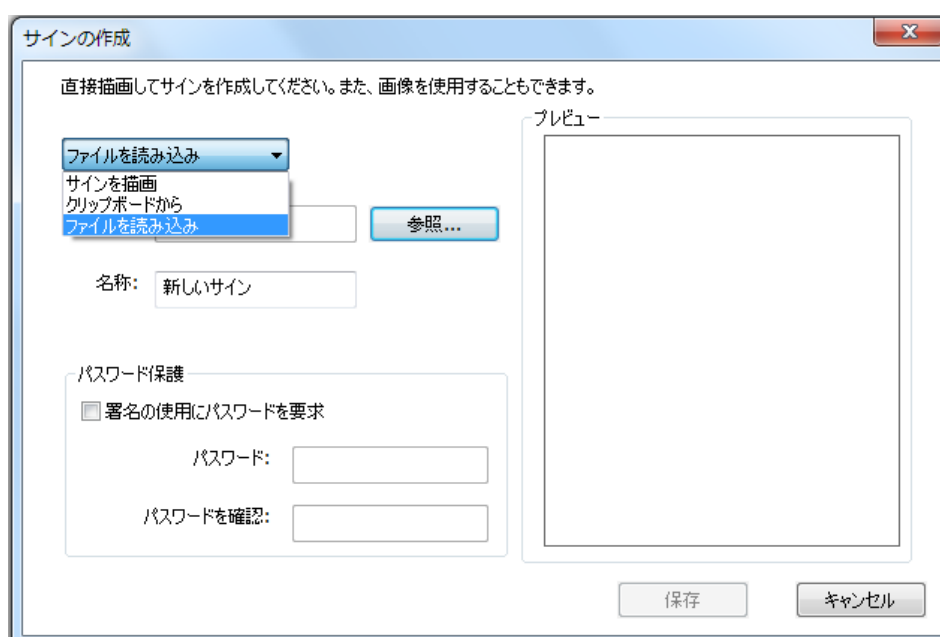


PDF サイン

Foxit J-Reader を使用して、自筆署名、またはローカル/ クリップボードに保存された画像を使用して、PDF ファイルにサインを適用できます。さらにセキュリティ面を考慮し、Foxit J-Reader は作成したサインの暗号化保護に対応しました。

PDF ファイルにサインを適用するには、以下の手順を実行します：

- **保護タブ > 保護グループ > PDF サイン > サインの作成** を選択します。
- 必要に応じてサインを描画する、またはローカル/ クリップボードに保存された画像を読み込みます。



- ◇ サインを描画する場合は、「サインを描画」を選択して「描画」ボタンをクリックしてください。サインを描画ダイアログが表示され、サインを描くことができます。描画した後は「OK」をクリックしてサインを保存し、完了します。
 - ◇ サインとして使用する画像を読み込む場合は、「ファイルを読み込み」を選択して「参照」をクリックします。表示される開くダイアログにて使用する画像ファイルを選択し、「開く」をクリックします。画像ファイルは右側に表示されるプレビューで確認できます。
 - ◇ クリップボードに保存された画像をサインとして使用するには、「クリップボードから」を選択します。クリップボードの画像がプレビューに表示されます。
- (オプション) 「署名の使用時にパスワードを要求」を使用する場合は、オプションをチェックして、パスワードおよびパスワードの確認を入力し、設定します。
- 「保存」をクリックして使用準備が完了します。ページの任意の場所でダブルクリックすることで、サインを適用します。

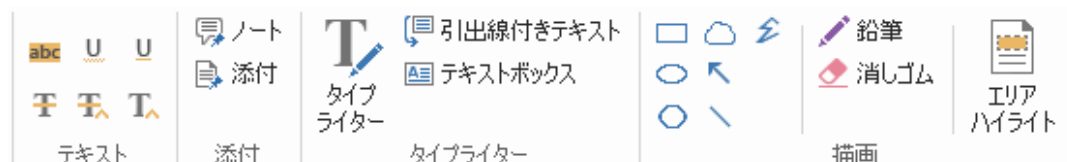
ノート: 「署名の使用時にパスワードを要求」を設定した場合は、サインを選択するときにパスワードの入力が必要になります。

注釈







注釈は、文書を閲覧しての勉強や仕事を行なうために欠くことのできない機能です。Foxit J-Reader はコメントなどを追加できる様々な注釈ツールを提供しています。注釈に返信したり、注釈を簡単に移動、削除したりすることもできます。

注釈ツール


注釈を追加するツールには、テキストツール、添付ツール、タイプライターツール、描画ツールなど、機能の異なる様々なツールがあり、注釈タブに配置されています。これらのツールを使用して、PDF に注釈として、テキストメッセージを入力したり、線分や円または他の図形を描画したりすることができます。さらに、これらの注釈を簡単に編集、返信、削除、移動させることも可能です。この機能は、PDF 文書にコメントなどを書き加えながら勉強や作業を行なうのに大変有用です。

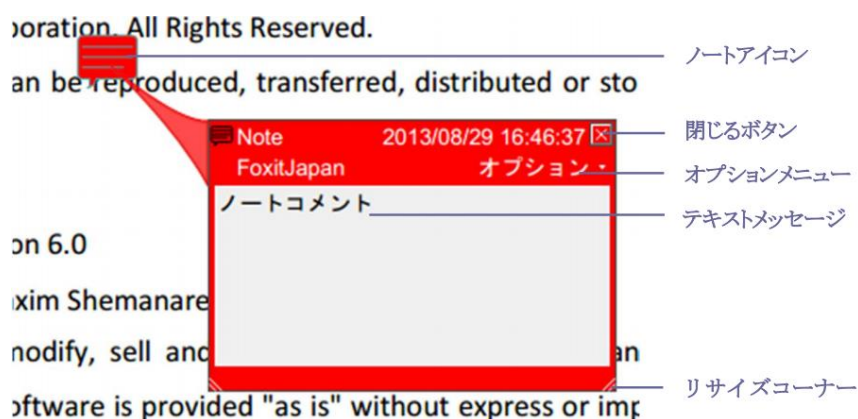


テキストツールを使用する


ボタン	ツール名	説明
	ハイライト表示	文章の重要な部分などに、主に蛍光色を使用してマークします。記憶に残りやすく、後で参照する際にも便利です。
	波線	下線ツールと似ていますが、テキストの下に波線を追加します。
	下線	重要な箇所であることを示すため、下線を追加します。
	取り消し線	テキストの上に取り消し線を引き、そのテキストを削除することを他の人に知らせます。
	置換	取り消し線を引いて、置き換える内容を記述します。
	テキスト挿入	校正のマーク (^) を追加して挿入する内容があることを示します。

添付ツールを使用する


ノート注釈を追加するには、ノート注釈ツール  を選択し、配置したい場所をクリックして、ボックスにコメントを入力します。



注釈としてファイルを添付する場合は下記を実行します:

- ◇ 注釈タブの添付グループにある、添付ボタン  を選択します。
- ◇ 注釈としてファイルを添付する場所にポインターを移動し、その箇所をクリックします。
- ◇ 開くダイアログで添付するファイルを選択し、「開く」をクリックして実行します。

ノート: 特定のファイル形式 (EXE 形式など) を添付しようとした場合は、Foxit J-Reader はセキュリティ設定により許可しないという内容のメッセージを表示します。

- ◇ ファイルを添付した箇所には添付アイコン  が表示されます。



タイプライターを使用する

タイプライターツールは PDF ファイルにテキストを入力するツールです。タイプライターツールを使用してコメントの追加、編集、移動、削除を実行できます。また、タイプライターツールについての環境設定も行なうことも可能です。

タイプライターでコメントを入力するには、以下を実行します：

- ◇ 注釈 > タイプライターグループ > タイプライター を選択します。
- ◇ テキストを挿入する場所にポインターを移動してクリックします。
- ◇ 改行する場合は、**Enter** キーを押下します。
- ◇ 入力、編集を終了する場合は、テキストを入力した領域の外をクリックします。











タイプライターによるコメントを削除するには、以下のいずれかを実行します：

- ◇ 注釈 > タイプライターグループ > タイプライター を選択します。テキストの先頭、または最後にカーソルを移動させ、ドラッグしてすべてを選択し、**Delete** キーを押下します。
- ◇ (推奨方法) 注釈選択ツール 、または手のひらツール  をクリックし、対象のテキストのフィールドを右クリックしてメニューより「削除」を選択します。

描画ツールを使用する

描画ツールは線や図形、テキストを使用して注釈を作成するためのツールです。描画ツールを使用すると、矢印、線、正方形、長方形、円、楕円、多角形、折れ線、雲形等の図形で文書に目印を付けることができます。


描画ツール

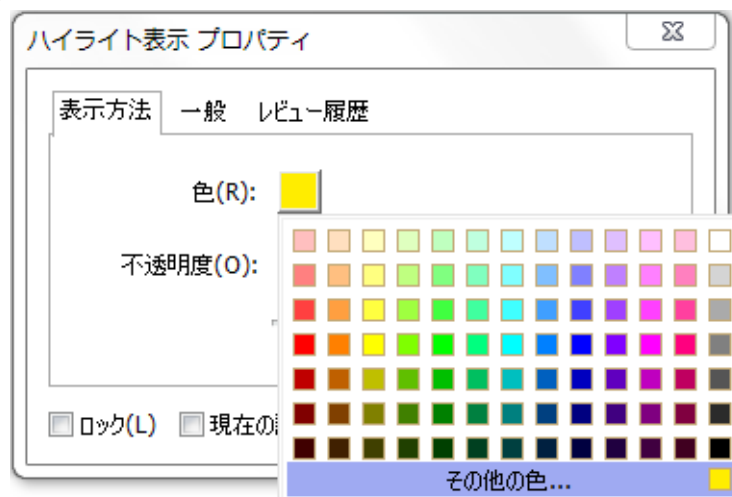
ボタン	ツール名	説明
	矢印	方向を示すシンボルを描画します。矢印のような形状です。
	線	線分を描画します。
	長方形	四角形を作成します。
	楕円形	楕円形を作成します。
	多角形	3 本以上の線分で囲まれる、閉じた図形を作成します。
	折れ線	3 本以上の線分で構成される、開いた図形を作成します。
	鉛筆	フリーハンドの線を作成します。
	消しゴム	鉛筆ツールで作成された図形を消去します。
	雲型	雲型の図形を描きます。
	エリアハイライト	指定した領域をハイライト表示します。特定のテキスト範囲や画像、空白領域にも対応します。

描画ツールで注釈として図形を追加するには、以下の手順を実行します:

- ◇ **注釈** > **描画グループ** > 任意の描画ツールを選択します。
- ◇ マウスをドラッグして、ページの任意の領域に図形を描きます。
- ◇ マークアップした図形をダブルクリックすると、ポップアップノートが開きコメントを入力できます。

Foxit J-Reader は特定のテキスト範囲や画像、空白領域など、指定した領域をハイライト表示することができます。

- ◇ 領域をハイライト表示するには、**注釈** > **描画グループ** > **エリアハイライト**  を選択して、ハイライト表示したい領域をドラッグして指定してください。
- ◇ 初期設定では、黄色でハイライト表示されます。ハイライトの色を変更するには、ハイライトした領域を右クリックして、「プロパティ」を選択してください。ハイライト表示プロパティダイアログで**表示方法**タブを選択して、「色」の設定を行なうことができます。



Foxit J-Reader のフリーハンドの注釈は、PSI に対応しています。Surface Pro ペンの入力や Wacom ペンタブレットなどから、PDF に鉛筆ツールでフリーハンドの注釈を入力できます。以下の手順を実行します:

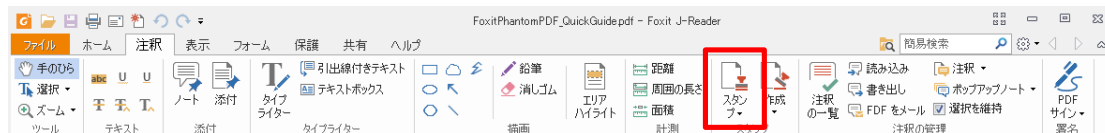
- (Surface Pro の場合) **注釈** > **描画グループ** > **鉛筆**、と選択します。Surface Pro ペンを使用してフリーハンドの線を入力します。
- (Wacom タブレットの場合) Wacom タブレットをコンピューターに接続してから、**注釈** > **描画グループ** > **鉛筆**、と選択します。Wacom ペンを使用してフリーハンドの線を入力します。

スタンプツール

既存スタンプのリストから選択して、またはカスタムスタンプを作成して、PDF にスタンプを追加することができます。読み込みしたスタンプや作成したスタンプは、すべてス

タンプメニューとスタンプパレットに登録されます。以下の操作を実行して、スタンプをPDFに追加します。

- **注釈 > スタンプ** を選択します。



- スタンプパレットよりスタンプを選択します。パレットには「標準スタンプ」「付属スタンプ」「ダイナミックスタンプ」のカテゴリがあります。
- または、**注釈 > スタンプ > 作成 > クリップボード画像をスタンプとして貼り付け**を選択して、クリップボードに保存された画像をスタンプとして選択することも可能です。
- PDF ページ上のスタンプを追加したい箇所でクリックすると、その箇所に選択したスタンプが表示されます。

PDF のレビュー


Foxit J-Reader を使用して、簡単な操作で PDF のレビューに参加、注釈を共有、レビューをトラックすることができます。

共有レビューに参加

- メールソフトから、レビュー対象の PDF を開きます。
- 対象の PDF を初めて Foxit J-Reader で開く場合、下図の画面でユーザー情報を入力する必要があります。

A screenshot of a dialog box titled 'ユーザー情報登録' (User Information Registration). The dialog box has a close button (X) in the top right corner. The main text reads: '他のレビュー参加者に自分の注釈が判るよう、ユーザー情報を入力してください。ユーザー情報は、環境設定の「ユーザー情報」にて、いつでも変更可能です。' (Please enter user information so that other review participants can see your annotations. User information can be changed at any time in the environment settings 'User Information'). Below the text are two input fields: '名前(A):' (Name) and '電子メールアドレス(M):' (Email address). At the bottom of the dialog box are two buttons: 'OK(O)' and 'キャンセル(C)' (Cancel).

- PDF に必要に応じて注釈を追加します。

- 作業が完了したらメッセージバーの「公開」をクリックして、他のレビュー担当者に注釈を共有します。
- 以下のいずれかの方法で PDF を保存します:
 - ◇ **ファイル > 名前を付けて保存** を選択し共有する PDF のコピーをローカルディスクに保存します。レビューを継続するために再度開いたり、さらにレビューを受けするため他のレビュー担当者に送信したりすることができます。
 - ◇ メッセージバーのレビューオプションボタン  をクリックして「**アーカイブコピーを保存**」を選択すると、以後、共有レビューとして使用されることのない PDF のコピーとして保存されます。

レビュー中 Foxit J-Reader は、自動的に同期しておよそ五分毎に新規に追加された注釈を更新します。また「**新しい注釈を確認**」をクリックして手動で新規の注釈を更新し、必要に応じて他のレビュー担当者の注釈に返信することも可能です。

電子メールレビューに参加

- メールクライアントで受信した PDF を開きます。
- PDF に必要な注釈を追加します。
- 作業が完了したら、メッセージバーにある「**注釈を送信**」をクリックして担当者に電子メールでレビューされた PDF を返信します。
- (必要があれば) **ファイル > 名前を付けて保存** を選択し、ローカルに PDF のコピーを保存してください。

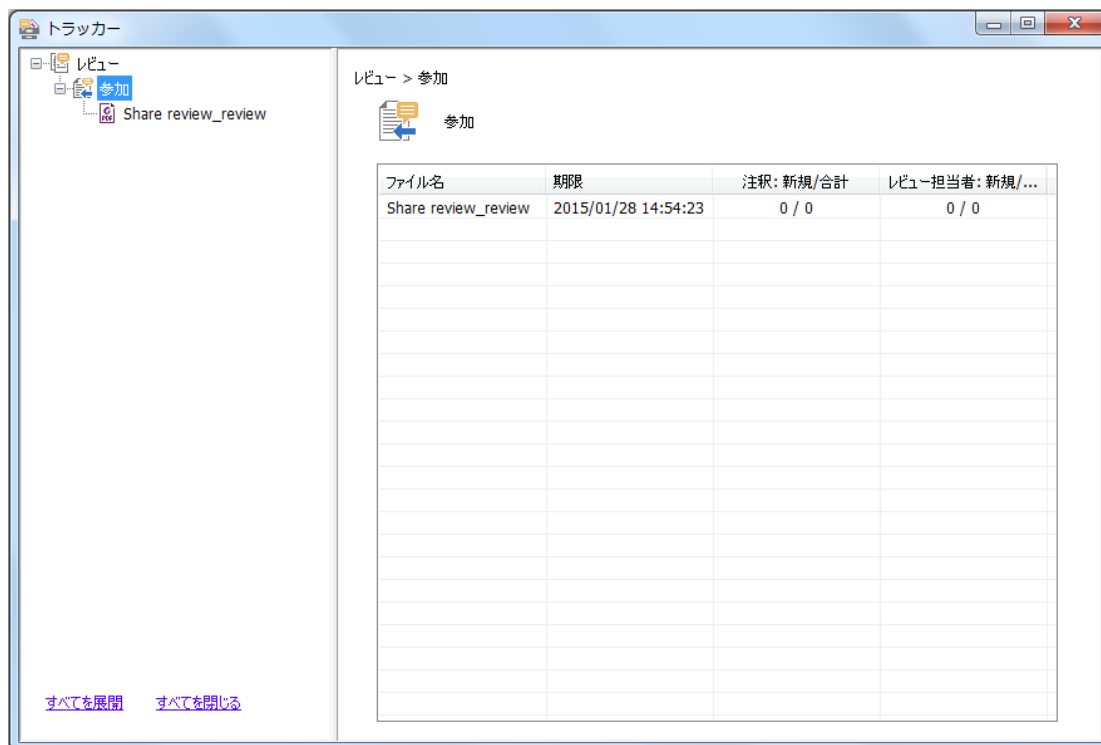
レビューに再参加

- PDF をレビューするために再度開く場合、以下のいずれかの方法があります:
 - ◇ 以前レビューした PDF のコピーがローカルに保存されている場合は、直接それを開きます。
 - ◇ **共有 > レビュー > トラッカー** と選択し、レビューする PDF を右クリックしてメニューより「**開く**」を選択します。
 - ◇ メールソフトから該当の PDF を開きます。
- F 共有レビューや電子メールによるレビューを継続する場合は、上記で指定された同様の手順を実行してください。

ノート: Foxit J-Reader を使用して、メールソフトからレビューされた PDF を開くには、Foxit J-Reader で操作できるよう設定されたメールソフトがインストールされている必要があります。現在、Foxit J-Reader は Microsoft Outlook、Gmail、Windows Mail、Yahoo Mail 等、主要なメールソフトをサポートしています。Foxit J-Reader がサポートしていないメールソフト、または Webmail を使用している場合は、まず対象の PDF をダウンロードし、ローカルに保存してから、開いてレビューしてください。

レビューのトラック

Foxit J-Reader はレビューの容易なトラックを支援するトラッカー機能を提供しています。共有 > レビュー > トラッカー を選択すると、ファイル名、期限、参加している共有レビューの注釈および参加者の数を確認できます。





フォーム

PDF フォームは情報の受信や送信をするのに合理的な方法です。Foxit J-Reader は PDF フォームの入力、フォームへの注釈、フォームデータの読み込みと書き出し、2D バーコードの生成、XFA フォームの署名の検証などをサポートしています。

PDF フォームへの入力

Foxit J-Reader はインタラクティブ PDF フォーム(Acro フォームおよび [XFA フォーム](#)) とノンインタラクティブ PDF フォームの双方に対応します。インタラクティブフォームに

入力するには手のひらツール  を使用します。ノンインタラクティブフォームの場合は、タイプライターツール  を使用して入力します。

Foxit J-Reader は PDF フォームをすばやく簡単に入力できるよう、オートコンプリート



機能を備えています。フォームの入力履歴を保存し、次のフォーム入力の際に履歴を参照して入力候補を提示します。入力候補はポップアップメニューに表示され、ユーザーの入力を支援します。

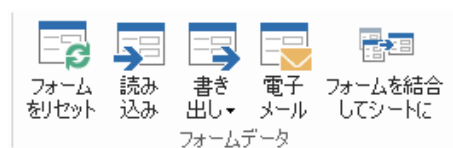
ノート: PDF フォームの入力時にオートコンプリート機能を使用する場合は、**ファイル > 環境設定 > フォーム** と選択し、「**オートコンプリートを有効にする**」にチェックしてください。同じダイアログで履歴のクリアも可能です。

フォームに注釈を追加する

PDF フォームの位置にも他の PDF のページと同様に、注釈を配置することができます。ただし、作成者がユーザーに許可している場合に限りです。参照: [注釈](#)

フォームデータの読み込みと書き出し

フォームデータグループにある **読み込みボタン**  または、**書き出しボタン**  をクリックして、PDF ファイルのフォームデータの読み込み/書き出しを行います。しかしながら、この機能は PDF インタラクティブフォームにのみ有効です。また、Foxit J-Reader はフォーム入力をリセットするための「**フォームをリセット**」ツールを提供しています。

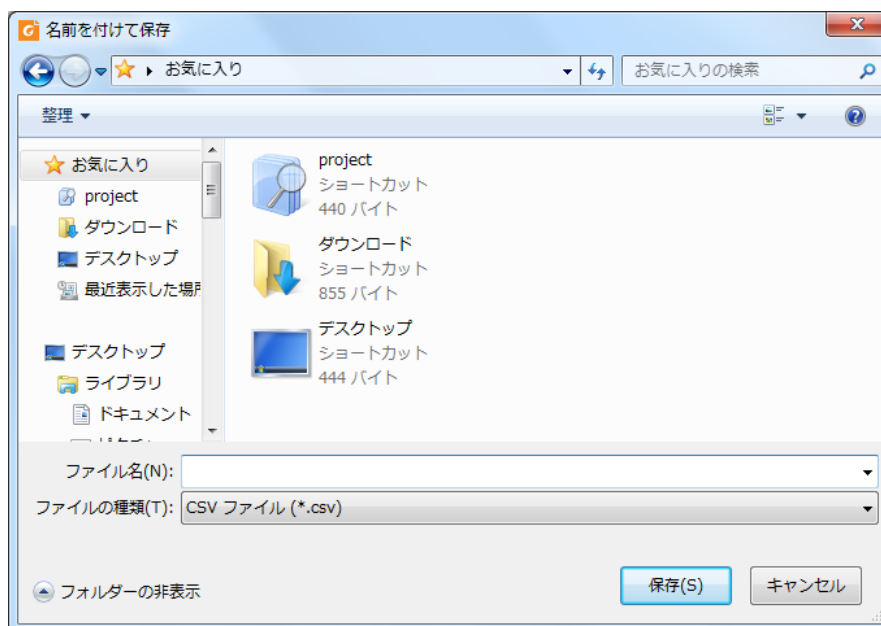


フォームデータのツール

Foxit J-Reader は一つの、または複数のフォームデータを CSV ファイルに書き出しすることができます。

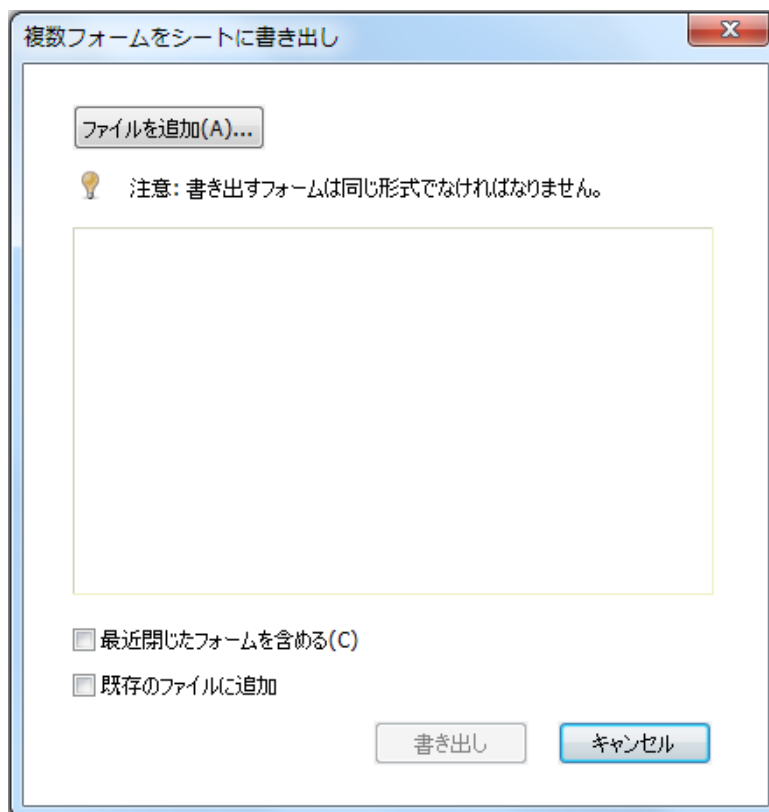
フォームの入力情報を CSV ファイルに書き出しするには、以下の手順を実行します:

- **フォーム > フォームデータ > 書き出し > 新規ファイル** と選択します
- **名前を付けて保存** ダイアログボックスで保存先とファイル名を指定し、「**ファイルの種類**」にて「**CSV ファイル(*.csv)**」を選択します。
- 「**保存**」をクリックしてファイルを保存します。



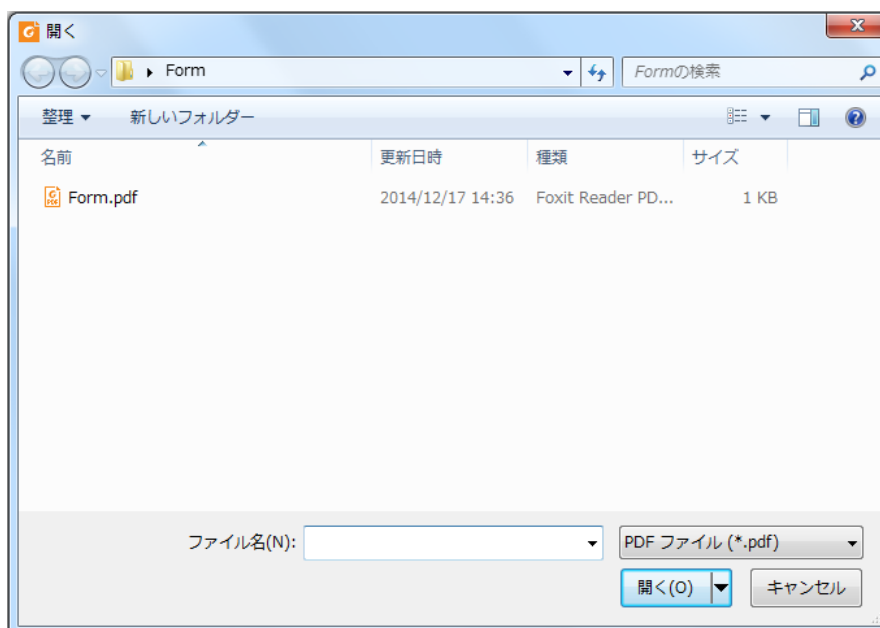
複数のフォーム内容を CSV ファイルに書き出しするには、以下の手順を実行します：

- フォーム > フォームデータ > フォームを結合してシートに と選択します。
- 複数フォームをシートに書き出しダイアログボックスで「ファイルを追加」をクリックします。

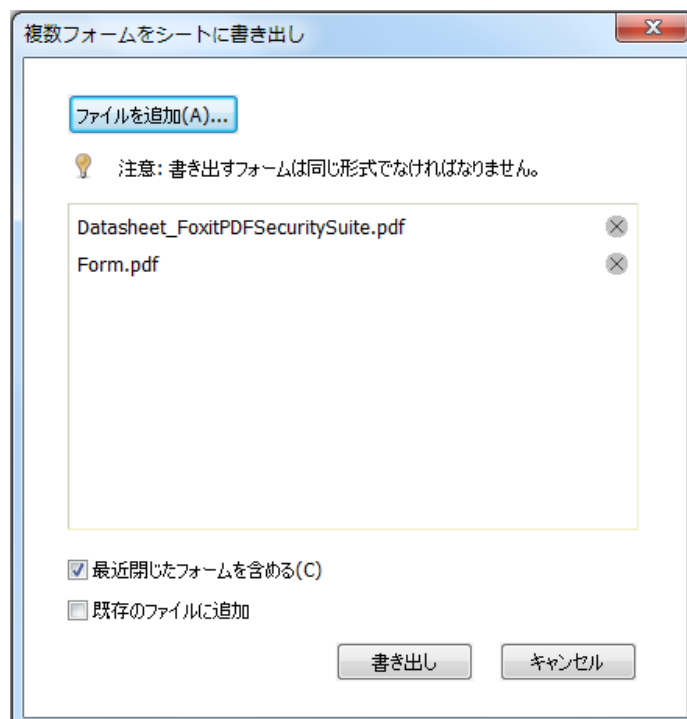


- 開くダイアログボックスが表示されます。フォームデータを結合するファイルを選

択して「開く」をクリックして追加します。

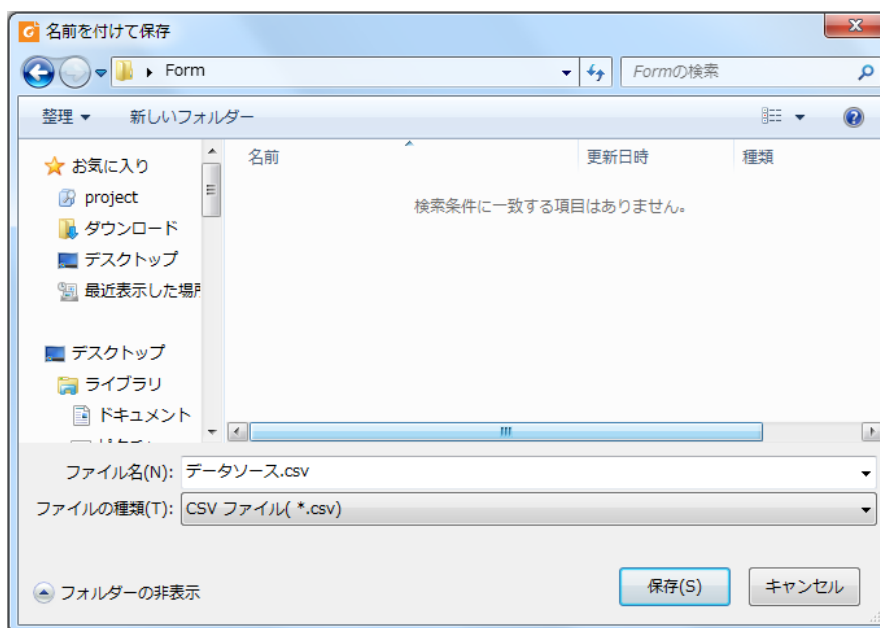
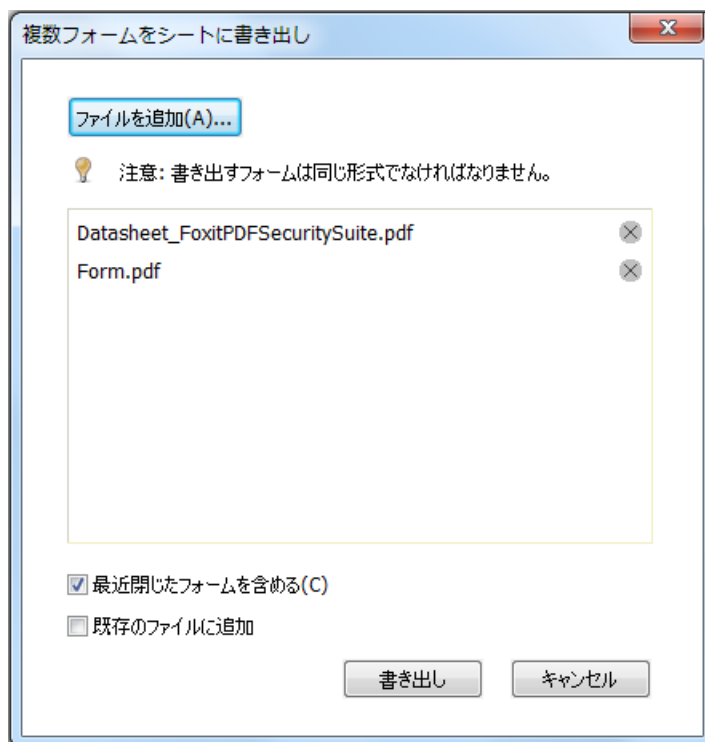


- また、以前に結合を行ったフォームを開く場合は、「最近閉じたフォームを含める」にチェックして、登録することができます。追加したくないファイルは削除して、結合するリストからはずしてください。




- 既存のファイルにフォームデータを追加挿入する場合は、「既存のファイルに追加」にチェックしてください。
- 「書き出し」をクリックすると名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されま

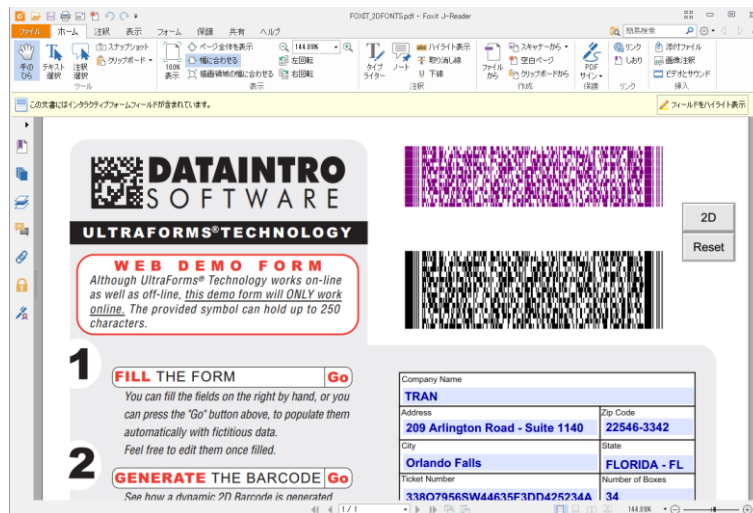
すので、任意の場所に CSV ファイルを保存します。



2D バーコードの生成

Ultraforms テクノロジーを用いて作成されたフォームに対し、Foxit J-Reader は 2D バーコードの生成をサポートしています。情報をバーコードとして取り扱えるため、よりスムーズな情報管理が可能になります。以下のような操作で実行します：

- 該当のフォームに入力します。
- 入力の完了後、バーコード生成のためのボタンが用意されていればクリックしてください。フォームファイルから 2D バーコードが生成されます。
- 画面左上の保存ボタンなどで、バーコード情報を含むファイルを保存できます。
- (必要に応じて) **ファイル > 印刷** にて紙面に印刷することで、スキャナーなどで読み取って利用することも可能です。



ノート:

1. 現在、Foxit J-Reader は Ultraforms テクノロジーで機能統合されたフォームに対してのみ、2D バーコードの生成をサポートしています。
2. 2D バーコードを生成する手順については、Ultraforms テクノロジーを使用してそのフォームを作成した作成者の仕様に基づきます。前述の、フォーム入力完了後にボタンをクリックしてバーコードが生成されるケースは、あくまで参考例の一つです。

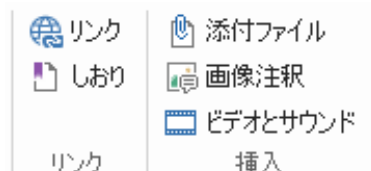
XFA フォームの署名の検証

Foxit J-Reader は XFA フォームにある署名を検証することができます。署名をクリックするだけで署名の検証ステータスを確認できます。また、表示されるウィンドウから署名のプロパティも参照できます。



その他の編集機能

Foxit J-Reader は PDF 文書に対する先進的な編集機能をいくつか備えています。しおりの作成、リンクの追加、画像注釈の挿入、マルチメディアの追加と再生などです。



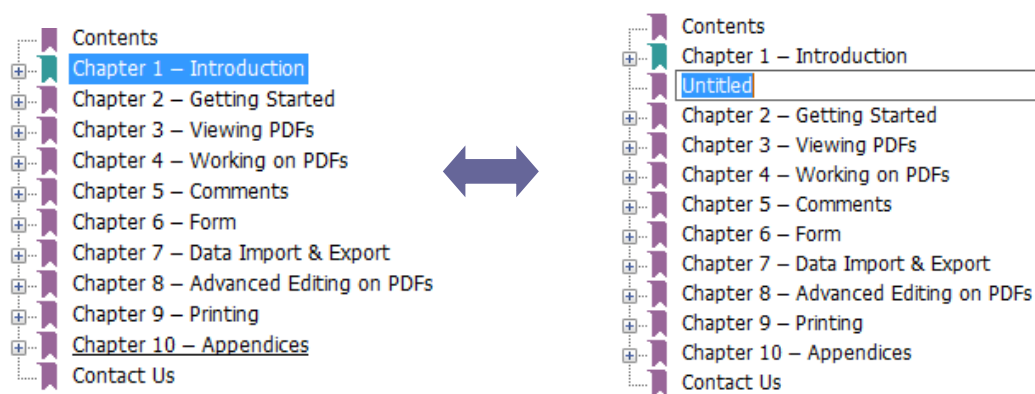
「ホーム」タブの編集ツール


しおり

しおりは、PDF 文書の中の繰り返し参照したい場所にマークを付けるのに非常に有効な方法です。しおりの追加、移動、削除などを行うことができます。

しおりの追加



1. しおりからリンクしたいページを表示します。このとき、表示状態を調整することも可能です。
2. 新しいしおりを追加する位置の上のしおりを選択します。既存のしおりを選択しないで新しいしおりを追加すると、追加されたしおりはリストの最後に表示されます。



3. しおりパネルにあるしおりの追加アイコン  をクリックするか、または、選択したしおりを右クリックして、メニューより「しおりを追加」を選択してください。
4. 追加したしおりの名称を編集して、**Enter** キーを押下します。

しおりの移動


配置を変更したいしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います:

- 選択したしおりのアイコン  をドラッグし、移動先でドロップします。この時、表示されたライン... でしおりの移動位置を確認してください。上のしおりと同じ階層に移動することも、上のしおりの一つ下の階層に移動することも出来ます。
- 移動するしおりのアイコン  上で右クリックし、ポップアップメニューから「切り取り」を選択します。次に、移動先の上のしおりを右クリックし、ポップアップメニューの「選択したしおりの後に貼り付け」を選択すると、そのしおりと同じ階層の下（後ろ）に移動します。

ノート: しおりを移動した場合、しおりのリンク先は変わらず、しおりの位置だけが移動します。

しおりの削除

しおりを削除するには、以下の操作のいずれかを実行してください:

- 削除したいしおりを選択して、しおりパネル上部にある **削除ボタン**  をクリックします。
- 削除したいしおり上で右クリックして、ポップアップメニューの「削除」を選択します。

ノート: しおりを削除すると、下位のしおりも削除されます。

印刷

PDF 文書の印刷方法

1. プリンターが正常にインストールされていることを確認してください。
2. ファイルタブから印刷を選択します。
3. 出力するプリンター、印刷範囲、印刷する部数、その他のオプションを設定します。
4. 「OK」 をクリックして印刷します。

ページの一部を印刷する

ページの一部を印刷する場合は、スナップショットツール  スナップショット を使用します。

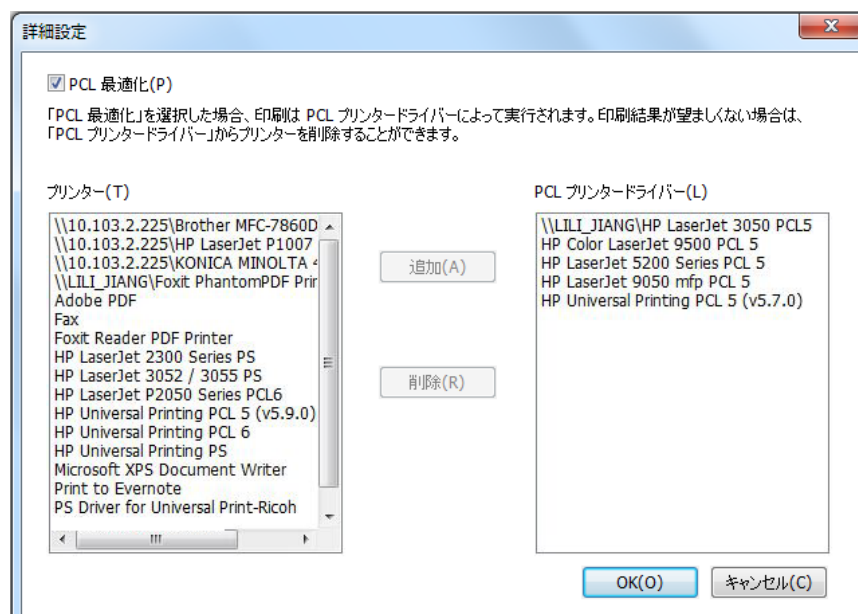
- ホーム > ツール > スナップショット と操作して、スナップショットツールを選択します。
- 印刷する領域をドラッグで指定します。
- 指定した領域で右クリックして、メニューより「印刷」を選択すると、印刷ダイアログが開き、選択領域の印刷を実行できます。

印刷オプション

PCL ドライバーの印刷オプションより、フォントの置換や印刷の向きについて、印刷ジョブを最適化するための設定を行うことができます。Foxit J-Reader には、この PCL 最適化設定のために PCL プリンターの自動検知機能が提供されており、印刷速度の改善を図ることができます。この機能を有効にするには、以下の手順を実行してください：

- ファイル > 印刷 を選択して印刷ダイアログを開きます。
- ダイアログ左下にある「詳細情報」をクリックします。
- ダイアログが表示されますので、以下の操作を実行します：
 - 「PCL 最適化」オプションにチェックします；
 - プリンターのリストからプリンターを選択して「追加」をクリックすると、PCL プリンタードライバーのリストに追加されます。
 - 「OK」をクリックします。

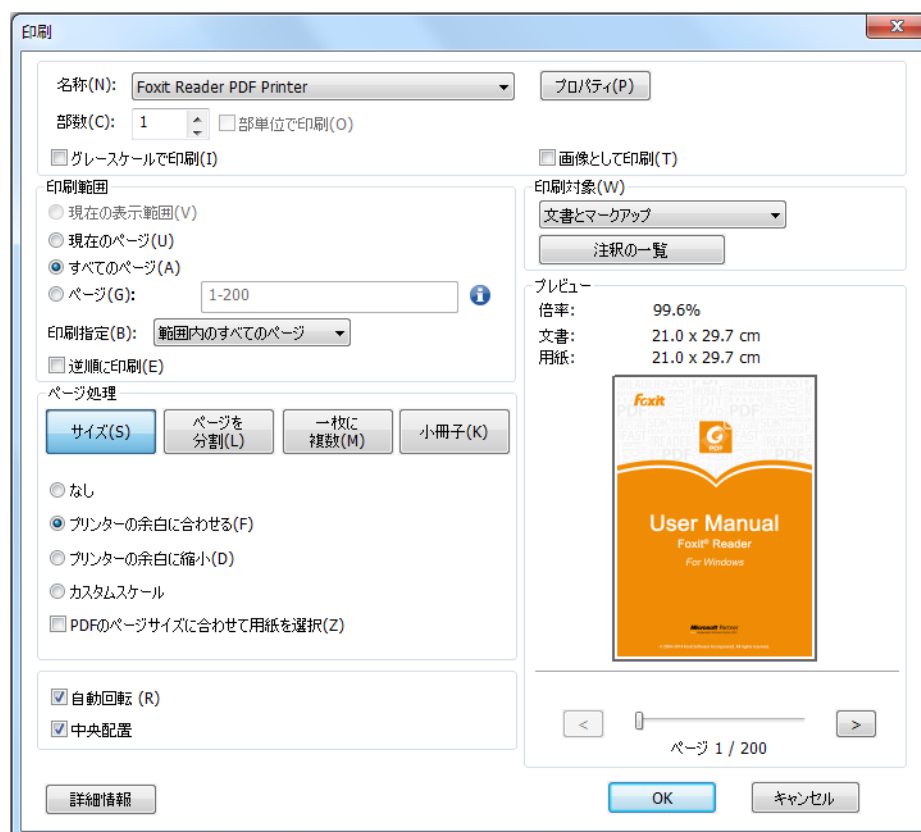
上記の後、最適化されたドライバーで印刷を実行できるようになります。また、印刷結果が望ましくない場合は、PCL プリンターのリストからプリンターを削除することもできます。その場合は、PCL プリンターのリストから該当するプリンターを選択して「削除」をクリックして実行します。そして「OK」をクリックして操作を完了します。



印刷ダイアログ

印刷ダイアログは、文書を印刷する際の最後のステップです。印刷ダイアログでは、どのように文書を印刷使用するかを設定できます。以下の操作を実行します。

印刷ダイアログボックスを開くには、**ファイル > 印刷** と選択するか、または複数タブ表示を許可しているときに印刷する文書のタブを右クリックして、「**現在のタブを印刷**」を選択します。



印刷ダイアログボックス

お問い合わせ

フリーのソフトウェアである Foxit J-Reader、およびそのコンポーネントにつきましては、技術的なご質問やサポートの受け付けを行っておりません。ユーザー様ご自身の責任で、ご利用をお願いいたします。

また、ソリューションおよびシステムへの組み込み用途には、原則としてご利用いただけません。その場合には、用途に応じて Foxit PhantomPDF や PDF SDK をお奨めいたします。下記までご相談ください。

株式会社 FoxitJapan

- **Office Address:**
〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3 汐留芝離宮ビルディング 21 階
- **Website:**
<http://www.foxit.co.jp/>
- **お問い合わせ:**
<https://www.foxit.co.jp/contact>